

## ご挨拶

日本医師会会長 原中勝征  
(代読 日本医師会常任理事 高杉敬久)

〈高杉敬久常任理事より〉

皆さん、おはようございます。今日は大変よいお天気ですけれども、その天気はちょっと置いておいて、熱き議論をお願いいたします。この4月から日本医師会は執行部が変わりました。新しく広島県から私は常任理事として入っております。医療安全担当として4月から少しずつ活動させてもらっておりますけれども、このような大きなイベント、いよいよ2度目でございますが、今日は会長が挨拶に参るところをちょっと業務が重なりまして、私が会長の挨拶を代読させていただきます。

\*

医療安全全国フォーラム公開シンポジウムの開催にあたり、共同行動の推進団体の代表として一言ご挨拶を申し上げます。

今、わが国は政治、経済、外交、教育などあらゆる分野で深刻な問題をたくさん抱えております。もちろん、医療の分野も例外ではなく、私たち医療提供者は、毎日たくさんの患者さんを診察・治療し、龐大な業務をこなし、物理的にも精神的にも大変な重圧に耐えている実情があります。そのような中にあっても、「医療の安全確保」と、「患者・医療提供者間の信頼関係の構築」は、常に守り、育てていかなければならない、最重要課題であることに疑いはございません。

この医療安全全国共同行動は、医療に携わるすべての人々が、それぞれの視点に立って、「安全な医療」を提供するにはどうしたらよいか、を真剣に考え、実践するという、まさに全員参加型で、建設的な取り組みであると、自負しております。このように、一人一人が考え、行動するということは、より高い成果を確実なものにするには、最もふさわしい方式であると考えられます。そして昨日のワークショップでは、皆さまの熱心なお取り組みの成果や、あるいはご苦労、悩みなどをご披露いただけたことと承っております。

本日のプログラムは、「公開シンポジウム」として、李(リ) 先生のご講演をはじめ、医療界を代表される先生方から、新たな展開に向けたご討論をいただけるものと期待しております。

フォーラムにご参加の皆さまとの間で、昨日のワークショップの成果を共有し、また、本日の公開シンポジウムにおいて、医療安全全国共同行動の新たな展開をともに考えることにより、2日間にわたるフォーラムは大変有意義なものになると確信いたしております。

最後になりましたが、本日ご参加のすべての皆さまが、安全な医療の実現に貢献し、ご活躍されることを願って、ご挨拶とさせていただきます。